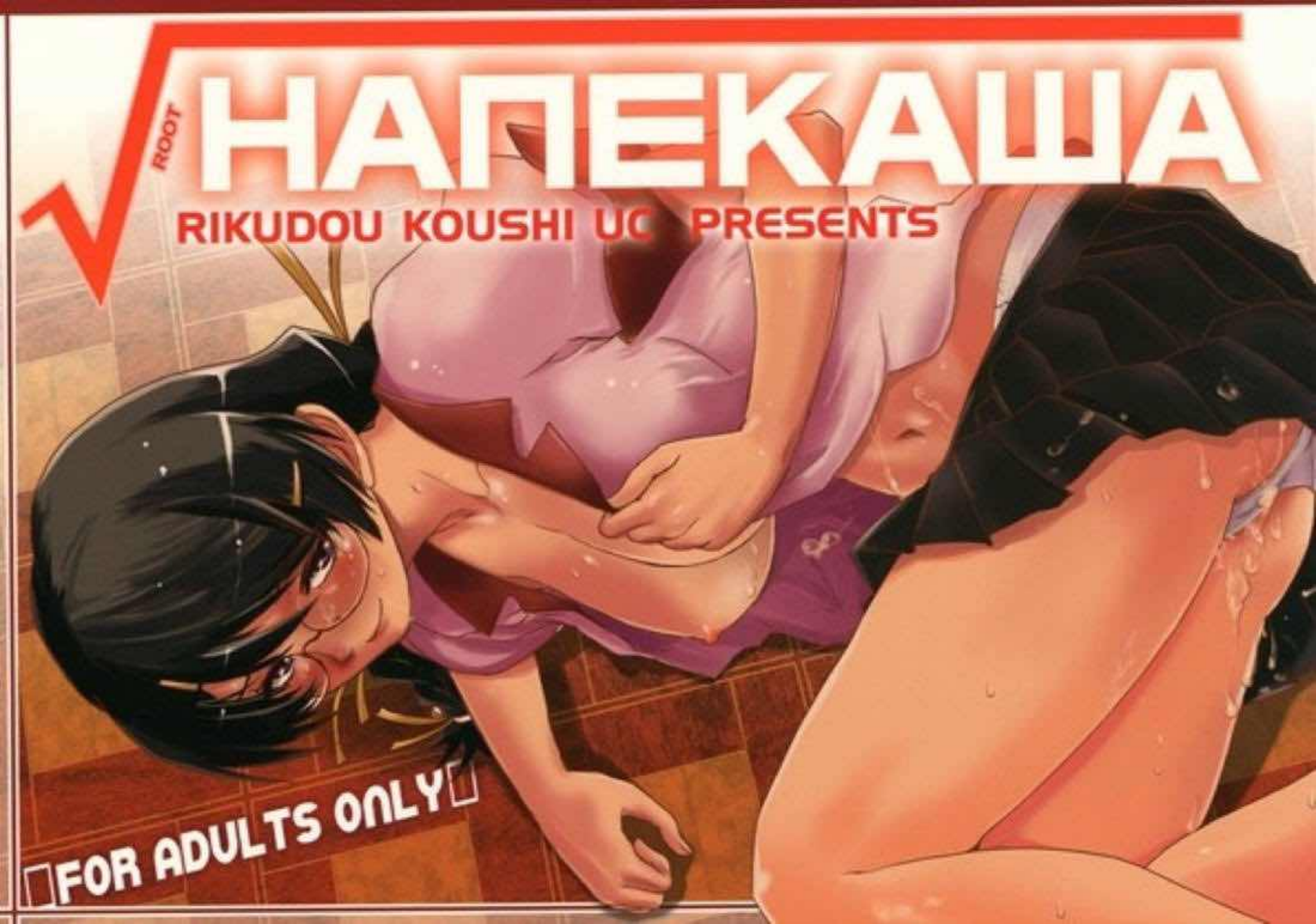

ROOT
HAPEKASHA
RIKUDOU KOUSHI UC PRESENTS
FOR ADULTS ONLY

# √HAMEKAWA

ROOT

RIKUDO-JUKU PRESENTS

## episode 1

信じられないことに僕は———

羽川翼と付き合っている

その日の僕らは
あり得ないくらい
盛り上がっていた

特にきっかけが
あったわけじゃない

はあッ

しいて言えば
なんとなく
二人きりなことを
意識した程度だ

ムッ

初キッスにしては
ちょっとヘビーだったかと
後日一応反省した

はッ

ふッ

キュッ

はッ

ムッ

スッ

ぐいっ
ぐっ
はあッ
初めてのキスで
舌を受け入れて
軽く喘ぐ羽川なんて
ついつい調子に乗っても
おかしくないと思う
ん…
待って…

ここが教室だということを
危うく忘れそうになった

待って…
阿良々木君…

すみません
調子にのりました

よし　土下座の準備だ

はぁ

そうじゃなくて…
もう…

私…
初めてなんだよ

はぁ

悪い羽川

僕は妹で経験済みだ

いや……僕は場を和ませようと…

そこまで引かなくてもいいんじゃないか？

えー

子供の頃？

この世の終わりみたいな顔をした

ビクッ

子供がふざけて軽くチューしただけですごめんなさい

つい最近もしてしまっていることは
一生黙っていよう……それはともかく

こんなことか？

んつ……

妹で経験済みだけど

あ……

僕も羽川が初めてだ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキッ

うん…

このへんも妹で経験済みだけど

目の前の――

こんないやらしい顔をした羽川に集中しよう

えっと：私は自分で脱いでいいのかな

うん いい眺めだ

もう！ まじめに聞いてるんだよ

キョコン

いい？ 私は阿良々木君がどんなに変態でも確かめようがないの

阿良々木君は正しい初体験をリードする義務があるんだよ

ああ羽川――

羽川はなんでも知ってそうだけどな

初体験に教室はドンアウトだ

教えないけど

もう…また言わせる…

ビキ

ビキ

なんでもは知らないわよ知りたいのは…

ちょ…
はッ
はッ
あっ
ふっ
ん…っ
待って…阿良々木君
どうして…んっいきなり余裕がなくなるの…っ
あごめん
あ…嫌じゃないんだよ…
あ
あ

羽川…男にはスイッチがあるんだ
あっ…
はんっ…話の流れからすると私……そのスイッチを押しちゃったの？
そうだ
あ
はッ
男はそのスイッチを押されると死ぬ
死ぬんだ！
正しくは悶え死ぬ！
んっ…私の責任なのかな…
ちっちょっと待って！阿良々木君
こんなところで止めるなんて羽川！僕を殺す気か！

いや…止めるんじゃなくってその……
ドキッ
ドキ
よく考えたらこんな明るい所で全部脱がなくてもいいんじゃないかなって…

安心してくれ僕はそういう面ではごくノーマルだ
セーラー服や看護服じゃないと嫌なんて我が儘は言わないさ
我が儘じゃなくってあのね！

ヒク
ヒク
ヒク
だめえ——っ！

ヤバ

やりすぎた

ごめんなさい
羽川さま
もうしません

僕は
もう死ぬかも
しれない…

まつ間違えないでね！

女の子は
誰でも
こうなるん
だから！

当たり前の
身体反応なの
一種の
防御機構なの！

性器を
広げた事は
怒ってない？

おお

…そして
男側の
フォローを
全部取られた

えー

相手が痴漢でも
レイプ犯でも
刺激を受ければ
同じなの！

目を突いたら
涙が出るのと
同じなんだよ！

酷い事を言われて
少し萎えた…

しょんぼり

え…

ウソだけど

必死で言い訳をするなんて僕を萌え殺す気か羽川

え？

ドキ

羽川…？

ドキ

ごめんね言い過ぎた

男の子もその…

刺激を受けると反応するんだよね

ゴゴ ゴゴ ゴゴ ゴゴ ゴゴ ゴゴ ゴゴ

標本の本で見たのと違うね…

ブル…

あれは輪切りだったし

怖いこと言うなよ！

ん…

ビク

暖かい……

はッ

はッ

なんてことだ

羽川が僕のを舐めてる

ぬぬぬッ

いや唾えていると言った方がエロいのか？

はッ

はッ

ちゅぷ

ちゅぷ

待て！一生懸命舐めすぎだ！

ちょ…

待った羽川！僕が悪かった

なんか大ひくなっふぁひょ？

ちゅぷ

ちゅぷ

はね…

ふうっ

ふーッ

ルルルルル

ハァ…

ハァ…

ん…

阿良々木君の可愛い顔全部見ちゃった

ガーン!

…なんだかすごく負けた気分だ

クスクス

ケホ

さっきのお返しだよ

ケホ

ってのんじゃったのかよ?

ケホ

大丈夫だよ喉の奥で出したから

ス…

その方がキスするとき気にならないでしょう?

そんなこと…

!!

そんな…

そんな訳の分からない気の使い方をする女なんだ！

あっ

えっ？

あ

ん――っ！

ひっ♡

ひゃめぇ

阿良々木君！舌っ…入れすぎっ…

あーっ♡

これは…

あふっ

はっ

僕のだ

ひやああっ

あっ

くはっ

あふっ

もう…

はぁ♡

ぎゅ

にちゅ

くしゅ

ぎゅ

ぎゅ

ぎ

取り消せよ…

はふぁあっ？

ひあ

ビクッ

クチュ

クチ

阿良…々木君…？

はぁ

いや名前を噛んだ事じゃなくて

はぁ

はぁ

僕はさっき羽川に舐められて死ぬほど気持ちよかったんだ

恥ずかしいくらいあっという間に出ちゃったよ

ヌチュ

すちゅ

クチュ

ビクッ

はッ

やぁん

もう

ビクッ

ビクッ

はぁ

ビクッ

羽川も

誰がやっても・こうなるなんて取り消せよ・

キュ

キュ

うみゅ…

はッ

んっ

はッ

うんっ

コクコク…

はぁッ

阿良々木君…

んッ…

はッ
はッ
はあ
阿良々木君に触られて…
私…壊れそうだよ
ミシッ
ぱーん
僕はとっくに壊れてる
ちゅ
ぎゅ
んんっ！
阿良々木君の…

あっ

はいってっ…？

あ――ッ

ん…

羽川に挿れてるってだけでまたイキそうだ

一応言っとくけど普段は遅くて苦労するくらいなんだぞ

ひゃ…

はぁぁ

うんっ

はぁ
はっ
ドバッ
きゅっ
きゅう
はぁ
はぁ
いいよ…
はぁ
私のなかで
イって…
阿良々木君
はぁ
はッ
はー
僕は何度でも
殺される——
羽川っ…
あっ
あ——っ
あんッ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
コポ
コポ

はー…ッ
はー…
いっぱい…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
阿良々木君の…熱い……

そんな事言うと回復しちゃうだろ
ドキュン！
にやあああっ
ゼロ
ゼロ

あっ…
はぁ
はぁ
かき回してる
あらら…ぎくんの…
はっんっ
あ
あ
また…あ…
ふあぁ…

ぬぬぬぬ!!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
[redacted]

あ…
あった…かい
はッ
はあ
あぁ
ヌルッ
プチ
[redacted]
ヌル

二人で盛り上がったつもりが…

羽川は承知の上で舞い上がった僕につきあってくれたんだ

えっと…色々と…

反省してます…

やっぱり羽川はなんでも知ってるんだな

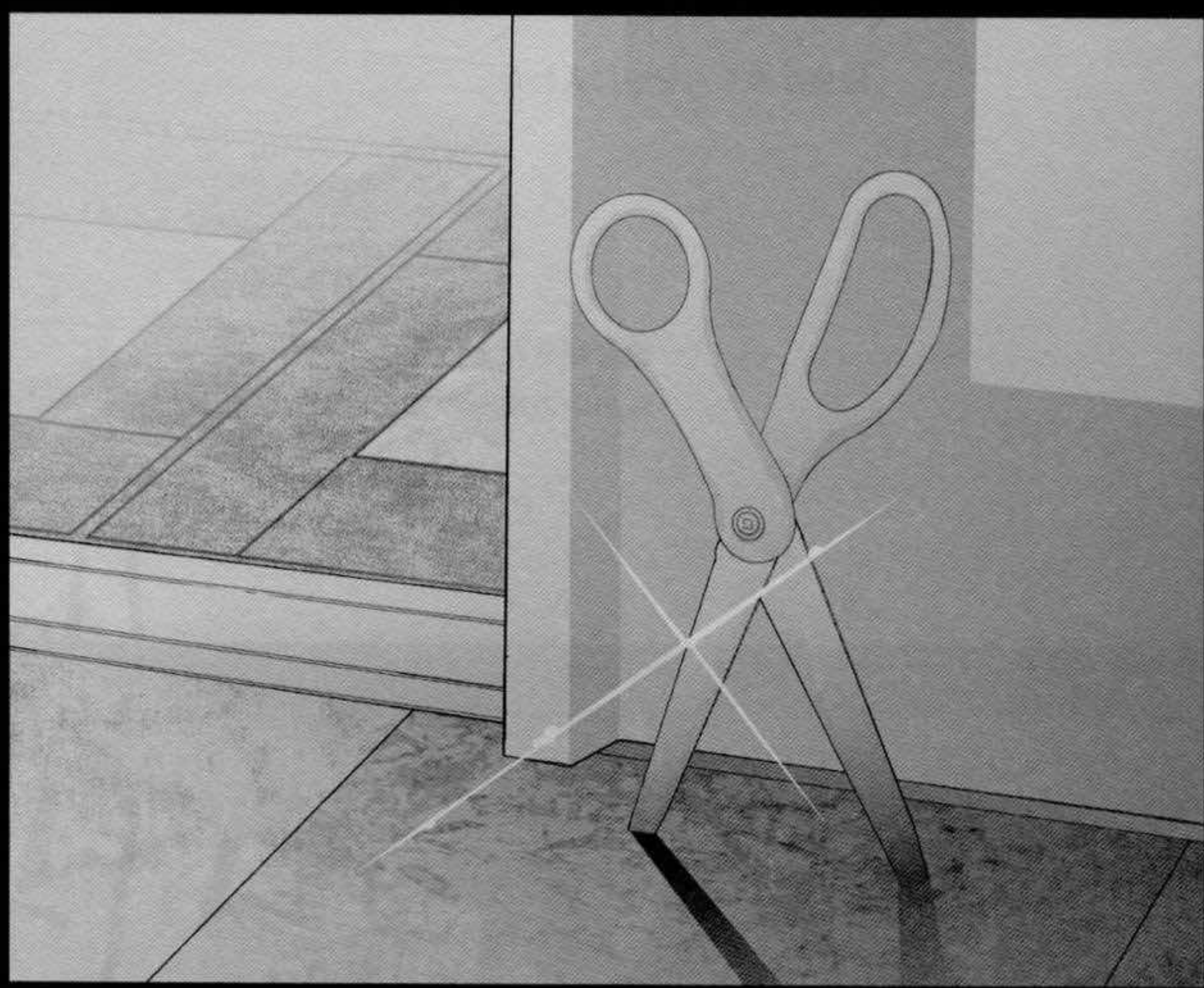
もう…

なんでもじゃないよ

そうして恥ずかしそうにキメ台詞を言う僕の彼女はとてもエロくて

知ってることだけ

もう一回とか言ったら殴られるだろうかとか考えた

僕は———

羽川翼を選んだ